

論文内容の要旨

専攻名	多文化社会学 専攻	氏名	沙日娜
題名	<p style="text-align: center;">族際婚姻したモンゴル族母親の教育戦略 -民族教育を受けた母親の語りを手がかりとして-</p>		
<p>論文内容の要旨</p> <p>中国におけるはモンゴル族と漢民族の結婚家庭の増加に伴い、これらの家庭の子育て方針や子どもの教育問題を浮き彫りにする。しかし、モンゴル族母親の対応や抱えている困難に関する先行研究は限られている。そこで、本稿は漢民族が大多数の社会で、主体的かつ能動的に子どもを教育している少数民族の母親像をインタビュー調査を経て描写したものである。本稿は内モンゴル自治区の首府フフホト市を調査地として、ここに住んでいる都市部出身の「加授漢語」モデルの民族教育を受け、漢民族男性と結婚したモンゴル族の母親を調査対象とした。この「加授漢語」モデルとは、民族教育としてのモンゴル語を教授言語として各教科を習得しつつ、1科目多く中国語を学ぶというモデルを指す。彼女らが子どもに展開している教育戦略の中身と特徴についての考察を第一の目的とし、また彼女らの教育戦略は影響を与える要因を考察することを第二の目的とした。</p> <p>本論文は6章から構成される。</p> <p>序章では、本研究の背景、問題の設定、章の構成などについて述べる。</p> <p>第1章では、内モンゴル自治区におけるモンゴル族社会の概要を述べる。「様々なモンゴル族」「蒙漢族際婚姻の歴史の変遷」、「民族教育における“避蒙趨漢”の実態」、「モンゴル語卒業生の就職問題」の4つの節に分けて説明した。中国のモンゴル族全体では内モンゴル自治区の居住者が最も多い。そのモンゴル族の生活形式には違いがあり、モンゴル族内部にも多様性が見られる。第1章の第1節では、主に内モンゴル自治区におけるモンゴル族の主要な居住地域別に、モンゴル族内部の多様性を論じた。第2節では、蒙漢族際婚姻に関する政策の変遷と現代の発展を述べた。第3節では、内モンゴル自治区におけるモンゴル族民族教育の発展段階と“避蒙趨漢”現象の出現を述べた。第4節では、主に1990年代以降、モンゴル語による教育を受けた卒業生の就職問題を明らかにした。</p> <p>第2章では、先行研究を検討した。この章は中国における族際婚姻に関する研究、エスニック・マイノリティーの教育戦略に関する研究からの先行研究を分析し整理した。中国における族際婚姻に関する研究については、ある地域における「族際婚姻の現状」、</p>			

「族際婚姻による民族融合への意義」、「族際婚姻による民族文化への影響」、「族際婚姻の第二世代」などのいくつかの側面からの分析が蓄積されてきたが、これらには、客観的に社会環境との関連性に着目している傾向がある。ライフストーリー法やインタビュー調査を通して、研究対象者の語りを分析する質的研究は少ない。エスニック・マイノリティの教育戦略についての先行研究により、農村や牧区のモンゴル族家庭の教育戦略とモンゴル族同士の家庭と蒙漢族際婚姻家庭の教育現状や学校選択の傾向に関するものは充実しているが、蒙漢族際婚姻家庭内部の教育実態に関する先行研究は限られている。以上のような先行研究の検討のうえで、本稿の位置づけを提示した。

第3章では、研究概要を紹介した。研究方法は半構造化のインタビュー調査であり、その理由を述べた。次に、対象地域の基本的な情報を明らかにした。そして、研究対象者の選定としては、①内モンゴル自治区のフフホト市都市部在住の漢民族男性と結婚したモンゴル族女性、②研究対象者自身の教育経験は、教授言語がモンゴル語で、「加授漢語」モデルの民族教育を受けた者、③高校生の子どもを持っている母親の、3つの条件を揃える4名に絞った。最後に、この4名の概況とインタビュー調査の結果を紹介した。

第4章では、インタビュー調査に基づいて、フフホト市に住んでいる族際婚姻したモンゴル族母親がどんな教育戦略を立てているのかを明らかにした。4名の調査対象者A、B、C、Dのそれぞれの教育戦略に「モンゴルダンスから民族文化の継承へ」、「漢民族学校を踏み台として」、「変化した学校選択」、「民族学校からモンゴル語興味クラスへ」、というタイトルを設けて詳細を記述した。母親たちの教育戦略の特徴と限界についても述べた。まず、「戦略的同化教育」つまり、子どもを漢民族学校に行かせる戦略は、第一言語が中国語である子どもにとって、主流文化が漢文化である漢民族社会でリスクを回避できるが、民族文化・言語を継承できないデメリットもある。「能動的な学校選択-1つの家庭2つの戦略」つまり、上の子どもに漢民族学校に行かせ、下の子どもを民族学校に行かせる戦略は、モンゴル語と中国語という多言語を身につけられるため、両民族家庭の文化資本を保持し、継承できる。母親たちは学校外教育を様々な活用しており、その目的は学校課程の成績向上だけでなく、民族文化への興味を育てるといった目的も見られる。また、母親の教育戦略への影響要因として、社会的要因と個人的要因があることも明らかになった。

終章では、先行研究を再検討したうえで、本研究の結論、今後の課題について述べた。

論文内容の要旨

専攻名	多文化社会学 専攻	氏名	SHA RINA
題名	Educational Strategies of Intermarried Mongolian Mothers -Take the story of a mother who received ethnic education as a clue-		
<p>Abstract</p> <p>As the number of married families of Mongols and Hans increases in China, the problems of child-raising and children's education in these families have been highlighted. However, the researches on the behavior and difficulties of Mongolian mothers are limited. Therefore, this paper describes the image of mothers of ethnic minorities who are proactively and actively educating their children in a society which centered on the Han Chinese. The main purpose of this paper focus on contents and characteristics of the educational strategies Mongolian mothers conduct on their children. These mothers have received education in 'Chinese Plus' pattern from an urban area, and married Han Chinese man who live in Hohhot, which is the capital city of the Inner Mongolia Autonomous Region. The 'Chinese Plus' pattern refers to a method in which Chinese will be taught as one more subject while other subjects will be taught in Mongolian. Meanwhile, the social issues that emerged through their educational strategies will also be investigated in this paper.</p> <p>This paper consists of six chapters.</p> <p>In introduction part, backgrounds, problem settings and purpose of the research, the composition of each chapter of this paper are described. Chapter 1 describes the Mongolian society in Inner Mongolia Autonomous Region. The explanation is divided into four sections: 'Various Mongolians', 'Historical Transition of Mongolian-Han Intermarriage', 'Actual Conditions of escaping Mongolian in Ethnic Education' and 'Employment Problems of Graduates taught in Mongolian'.</p> <p>Chapter 2 examines previous studies. This chapter analyzes and organizes previous studies from studies on interracial marriage in China and studies on ethnic minority education strategies. The opinions of this paper is presented.</p> <p>Chapter 3 introduced the outline of the research. First, the reason why adopting a semi-structured interview survey as a research method is described. Next, the outline of the survey location is introduced. The way how to select research subjects is also described. Finally, the general condition of these four survey subjects and the results of the interview survey are introduced.</p>			

In Chapter 4, based on an interview survey, what kind of educational strategy the four intermarried Mongolian mothers living in Hohhot is clarified. Then, the characteristics of these mothers' educational strategies are examined. Finally, the factors that influence these mothers' educational strategies are clarified.

In the final chapter, after revising the previous research, the conclusions of this research and future issues are described.